

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的な生活課題が山積する状況ではあるが、地域住民による主体的な見守り活動や支援が継続して行われている。絶対的なマンパワーの不足が顕著であり、高い専門性に基づく支援展開を図るために、様々な専門機関と連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

今年度の重点的な取組

新規
継続

— 具体的な取組内容 —

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> | ■ | 各部門のミーティングと連動させながら、ケアプラザ内の全部門(所長、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーター、居宅介護支援、通所介護)が参加する定例会議(月1回)を継続して実施し、個別課題から地域課題を捉え、課題を共有し、必要に応じ、地域ケア会議につなげていけるような会議体の流れを作る。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 地域福祉保健計画地区別支援会議の策定及び内容の周知等の話合いの機会を通して、専門職と地域住民の目指す将来像が一致していけるよう働きかけを行う。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 近隣住民より、なりすまし窃盗詐欺の報告があった。旭区内包括へ連絡し情報を共有するとともに、定期配布している広報紙にて周知に務める。また、消費者被害防止や特殊詐欺防止については民生委員懇談会等、人の集まる機会を利用して周知に努めていく。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | H30年度から実施している定例カンファレンス(高齢+障がい+α)にて事例検討を実施し、チームアプローチが効果的に行えるようにする(年3回)。事例によっては個別地域ケア会議としても開催する。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 精神科医との個別相談会を区の事業として引き続き開催予定(年6回)。事例に関わる本人家族への支援、支援者支援としても機能するよう地域の関係機関と協力して実施していく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・誰もが権利が守られ、尊重されるべき存在であることを踏まえ、普段の生活に支援が必要な人も地域で安心して暮らせるよう、毎月民生委員の懇談会を開催し情報共有し、また精神保健福祉的課題に関しては、精神科医との連携を行い、介護予防と福祉保健活動の改善に努めた。
 ・みんなで話し合い、考えるプロセスを大切に、支えあい連絡会とそのコア会議や、委員会を開催し、地域課題の解決に向けて、取り組んだ。
 ・支え合える地域づくりに向けて、介護予防や健康づくりとして、新たに、卓球部を2つ新設、10人を超える方々が出席している、また元気づくりステーションとして、ポッチャを行う団体を登録し、楽しみながら、住民同士が繋がり合う居場所を作ることに取り組んだ。

区からのコメント

・認知症への理解と対応や児童の居場所づくりなどの事業の検討や実施において、地域の企業や事業所、施設、保育園などそれぞれが持つ社会資源を創出・活用しながら取り組まれていることは評価できます。さらに取り組みを進めることで、ネットワークが構築され、幅広い支援活動につながることを期待しています。
 ・地区支援チームとして積極的に役割を果たし、地区別計画の策定支援ありがとうございました。目標別に立ち上がった委員会についても、住民主体の議論が活発に行われ、課題解決のための活動につながるよう、引き続き支援チームとして、また、ケアプラザの役割として地域に寄り添った支援をお願いします。
 ・高齢化率が高く、支援を要する方の多い地域で包括として迅速かつ的確に対応されています。介護予防の取り組みでは住民同士が繋がる場の提供に引き続き取り組んでください。

令和3年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	事故防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについて、個人情報が含まれた文書をやむを得ずFAX送信する場合は、マニュアルに沿って、チェックシートを運用し、漏えい事故防止を図る。
実績	地域住民が自立した生活を営めるよう出来る限り主体性を尊重し、必要な社会資源やサービス等を自ら選び決められるよう資源やサービスが一覧できる資料やチラシ等を活用し、自己決定支援に取り組んだ。	個人情報保護及び事故防止の研修会を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図った。特に個人情報保護に関する研修は、コロナ禍のためZOOMによる講習だったが、弁護士の方に講師をしていただいた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるように計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
職員体制	看護師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー2名(専従1名、兼務1名)	ケアマネジャー3名(うち管理者兼務1名、介護予防プランナー兼務1名)
契約者数	138名	76名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00~16:10 【定員】30名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:713円 要介護2:829円 要介護3:961円 要介護4:1,0914円 要介護5:1,224円 ●その他の利用料(1回分)入浴介助加算Ⅰ:43円、中重度者ケア体制加算:48円、若年性認知症利用者受入加算:64円、サービス提供体制加算Ⅱ:19円、食費:750円、紙パット・紙パンツ50~100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間) 1ヶ月分 事業対象者・要支援1:1,792円 要支援2:3,674円 ●その他利用料(1ヶ月分)生活機能向上グループ加算:107円、サービス提供体制加算Ⅱ(週1:77円・週2:154円) ●その他利用料(1回分)食費:750円、紙パット・紙パンツ50~100円		
職員体制	管理者1名、生活相談員2名、看護職員5名(機能訓練指導員兼務5名)、介護職員15名、調理員5名		
契約者数等	【延べ利用者数】6851名 【契約者数】85名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,673,000	0	14,673,000	14,266,783	406,217	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	4,300	△ 4,300	子ども科学クラブ参加費300円×6人 夏休み子どもクラブ参加費100円×7人 にこにこ会参加費300円×6人
雑入	0	0	0	8,520	△ 8,520	
印刷代	0	0	0	8,520	△ 8,520	コピー代
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	4,046,000	0	4,046,000	4,046,000	0	法人負担分(施設使用相当額、提案時控除)
収入合計	18,719,000	0	18,719,000	18,325,603	393,397	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,409,091	0	10,409,091	10,889,128	△ 480,037	
本俸	7,249,091	0	7,249,091	8,227,823	△ 978,732	職員9人分
社会保険料	1,000,000	0	1,000,000	945,775	54,225	職員9人分
手当計	2,000,000	0	2,000,000	1,554,700	445,300	職員9人分
健康診断費	0	0	0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	60,000	0	60,000	50,125	9,875	ハマふれんど職員9人分
退職給付引当金繰入額	100,000	0	100,000	110,705	△ 10,705	職員9人分
その他	0	0	0	0	0	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	865,316	1,179,684	
旅費	23,000	0	23,000	6,468	16,532	各種会議、講演会参加の交通費・駐車場代
消耗品費	300,000	0	300,000	125,314	174,686	コピー用紙、ファイル、テブラ、マーカー等
会議ठीい費	1,000	0	1,000	9,395	△ 8,395	運協茶菓代
印刷製本費	170,000	0	170,000	125,499	44,501	コピー印刷代、名刺代
通信費	380,000	0	380,000	379,732	268	電話代(固定、携帯)、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	721,000	0	721,000	0	721,000	
図書購入費	30,000	0	30,000	0	30,000	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	100,000	0	100,000	4,140	95,860	研修参加費
振込手数料	3,000	0	3,000	1,870	1,130	銀行への振込代
リース料	16,000	0	16,000	15,504	496	床マット代、モップ代
手数料	1,000	0	1,000	440	560	残高証明書発行手数料
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	300,000	0	300,000	196,954	103,046	福利厚生費、保健衛生費、燃料
事業費	550,000	0	550,000	213,898	336,102	
運営協議会経費	0	0	0	0	0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	550,000	0	550,000	213,898	336,102	自主事業支出
その他	0	0	0	0	0	
管理費	4,200,000	0	4,200,000	5,040,278	△ 840,278	
光熱水費	3,440,000	0	3,440,000	3,962,227	△ 522,227	光熱水費
清掃費	50,000	0	50,000	22,520	27,480	ワックス清掃費
機械警備費	180,000	0	180,000	175,191	4,809	機械警備費
設備保全費	530,000	0	530,000	549,321	△ 19,321	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	30,000	0	30,000	29,199	801	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	500,000	0	500,000	520,122	△ 20,122	総合設備管理費、給湯器遠隔監視付ノーマル定期点検
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	331,019	△ 331,019	ゴミゼロ回収経費 植栽整備
修繕費	474,000	0	474,000	67,783	406,217	予算：指定額 修繕費
公租公課	1,040,909	0	1,040,909	0	1,040,909	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	1,040,909	0	1,040,909	0	1,040,909	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	18,719,000	0	18,719,000	17,076,403	1,642,597	
差引	0	0	0	1,249,200	△ 1,249,200	
自主事業費 収入	0	0	0	4,300	△ 4,300	
自主事業費 支出	550,000	0	550,000	213,898	336,102	
自主事業 収支	△ 550,000	0	△ 550,000	△ 209,598	△ 340,402	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,588,000	0	23,588,000	22,852,117	735,883	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000	0	5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	290,000	0	290,000	290,000	0	法人負担分（施設使用相当額、提案時控除）
収入合計	29,834,000	0	29,834,000	29,098,117	735,883	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,850,000	0	23,850,000	23,589,234	260,766	
本俸	14,820,000		14,820,000	14,647,956	172,044	職員9人分
社会保険料	2,600,000		2,600,000	2,730,395	△ 130,395	職員9人分
手当計	5,800,000		5,800,000	5,652,258	147,742	職員9人分
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	230,000		230,000	206,375	23,625	ハマふれんど 職員9人分
退職給付引当金繰入額	400,000		400,000	352,250	47,750	職員9人分
その他	0		0	0	0	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	498,025	2,903,975	
旅費	200,000		200,000	35,330	164,670	各種会議、講習会参加交通費、駐車場代
消耗品費	500,000		500,000	47,592	452,408	コピー用紙、ファイル、テブラ、マーカー等
会議旅費	0		0	0	0	
印刷製本費	300,000		300,000	140,858	159,142	コピー印刷代、名刺代
通信費	100,000		100,000	20,161	79,839	電話代（固定、携帯）、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	800,000		800,000	64,800	735,200	パソコン購入
図書購入費	100,000		100,000	2,970	97,030	書籍代
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	400,000		400,000	53,470	346,530	研修参加費
振込手数料	2,000		2,000	3,448	△ 1,448	銀行への振込代
リース料	36,000		36,000	0	36,000	
手数料	0		0	440	△ 440	残高証明書発行手数料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	964,000		964,000	128,956	835,044	福利厚生費、保健衛生費、燃料
事業費	1,256,000	0	1,256,000	583,608	672,392	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算：指定額 協力医謝金
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000	1,995	350,005	自主事業支出
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	149,440	4,560	一般介護予防事業支出
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	75,173	44,827	予算：指定額 生活支援体制整備事業支出
その他	0		0	0	0	
管理費	1,200,000	0	1,200,000	1,339,816	△ 139,816	
光熱水費	892,000		892,000	1,053,250	△ 161,250	光熱水費
清掃費	20,000		20,000	5,986	14,014	ワックス清掃費
機械警備費	50,000		50,000	46,569	3,431	機械警備費
設備保全費	138,000	0	138,000	146,020	△ 8,020	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	7,761	239	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	130,000		130,000	138,259	△ 8,259	総合設備管理費、給湯器遠隔監視付ノーリツ定期点検
共益費	0		0	0	0	
その他	100,000		100,000	87,991	12,009	ゴミゼロ回収経費 植栽整備
修繕費	126,000		126,000	18,017	107,983	予算：指定額 修繕費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	29,834,000	0	29,834,000	26,028,700	3,805,300	
差引					3,069,417	△ 3,069,417

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	626,000	0	626,000	226,608	399,392	
自主事業 収支	△ 626,000	0	△ 626,000	△ 226,608	△ 399,392	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

令和3年4月1日~令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,043	2,891	1,152	6,486	5,782	704	14,938	12,275	2,663	100,853	71,761	29,092	14,265	10,252	4,013
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,956	-1,956	0	379	-379
	事業・負担金収入	0		0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他	0		0	0		0			0		1,956	-1,956		379	-379
	収入合計(A)	4,043	2,891	1,152	6,486	5,782	704	14,938	12,275	2,663	100,853	73,717	27,136	14,265	10,631	3,634
支出	人件費	1,850	1,698	152	3,550	3,396	154	13,323	12,107	1,216	64,062	59,278	4,784	9,135	8,468	667
	事務費	60	54	6	110	108	2	700	390	310	9,934	9,439	495	1,347	1,348	-1
	事業費	80	35	45	150	71	79	400	0	400	14,300	16,458	-2,158	2,037	2,351	-314
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,581	0	7,581	1,025	0	1,025
	その他	1,530	1,532	1,530	2,271	0	2,271	0	0	0	4,626	2,241	2,385	660	320	340
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,530	1,532	-2	2,271	0	2,271	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0			0			0			0			0
	その他			0	0		0			0	4,626	2,241	2,385	660	320	340
	支出合計(B)	3,520	3,319	1,733	6,081	3,575	2,506	14,423	12,497	1,926	100,503	87,416	13,087	14,204	12,487	1,717
	収支 (A)-(B)	523	-428	-581	405	2,207	-1,802	515	-222	737	350	-13,699	14,049	61	-1,856	1,917

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	H22	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の会、情報提供、虐待防止。場所はひかり商店街の喫茶カブカブ。	1:高齢者		介護者サロンとして、包括職員とサロン形式で雑談。親睦を深め虐待防止に繋げる事を継続していく。 ・毎月第2金曜日	8	36
2	囲碁教室	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。	1:高齢者		外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とする。ボランティアは福祉囲碁協会。 ・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日	7	96
3	古典を学ぶ会	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通じて、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1:高齢者		講師のご住職の方による、今昔物語の講読など。 ・毎月第4木曜日	9	28
4	にこにこ会	H18	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り。	2:障害児・者	5	会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。 ・毎月第4火曜日	6	29
5	子ども科学クラブ	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生の3年～6年生までを対象に、様々な科学おもちゃ工作を通して科学的興味を育てる。	4:子ども・青少年		講師の科学博物館ボランティアに毎月違う工作を指導していただく。地域のボランティアも2、3名協力。 ・毎月第3水曜日	1	10
6	ひかりの会	H18	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2:障害児・者		月に一度仲間と簡単な体操や脳トレなどを通して親睦を深めるサロン活動。 ・毎月第3火曜日	9	57
7	上白根地区民生委員懇談会	H22	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5:地域	5	市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行う。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。 ・毎月第2金曜日	8	103
8	施設連絡会	H20	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護保険施設の相談員と定期的に情報交換を行い、地域課題の抽出・対応の検討などを行う。	6:事業者		地域の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、高齢者グループホームの相談員等との情報交換や地域課題の抽出・対応の検討、ボランティア支援などを行う。 ・第3火曜日	1	7
9	健康 吹き矢	H26	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりの男性等の外出のきっかけづくり、また吹き矢による腹式呼吸トレーニングと腹筋・口の周りの筋力強化による健康増進。	5:地域		呼吸法を意識しながら、ゲームを楽しむ。 ・毎月第1水曜日、第3月曜日、第4土曜日	0	0
10	みんなの庭	H26	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。	5:地域	4	ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2～4回植え替え、随時手入れに参加していただく。募集は子どもから高齢者までの地域の方すべて。 ・年2回(5月・11月)＋不定期	6	29
11	歌謡体操	H25	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5:地域	1	カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていけるようにする。また、ライブDAMだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者が自ら選択してメニューを組み立てていき自主性のきっかけとしていただく。 ・毎月第1・3月曜日	20	267
12	Let's介護予防	H30	6:共催（2と3）	2:発展させるねらい	介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を通じて自身の健康管理及び介護予防に関する意識を高め、各種事業及び活動への参加につなげる。	1:高齢者		ケアプラザによる自主事業及び登録団体による活動等の参加者に向けて、介護予防及び認知症予防の体操や栄養改善・口腔ケア等の講座を実施する。 ・不定期	32	453
13	健脚でGO!	H29	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。立位では運動が難しい方を主な対象とする。	1:高齢者		介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。椅子に座りながらでもできる、効果的な筋力トレーニングとストレッチを行う体操教室で、リハビリテーション体育士が指導。 ・毎月第2土曜日	9	165

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）				4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	大人の料理倶楽部	H29	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	一人暮らしが多く、質素でバランスの取れない食事をしている方も多く、また作りたけど出来ないと諦めている方や、得意料理が有って人に食べさせたいと考える方等、少人数の中で講師をあえて作らず、自主的に助け合える関係性作りを目指す。長期目標としては担い手の育成を考える。	5：地域		お料理作りを通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・毎月第1・第3金曜日	0	0
15	楽しく健康！ 麻雀くらぶ	H29	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	5：地域		麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・第4金曜日	4	23
16	社交ダンス 教室	H29	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	社交ダンスを定期的に行う事で自宅から出て交流の場をもつ機会を増やし、介護予防を図る。	5：地域		やさしく、楽しく踊って心と体をリフレッシュ。また、身体に負担を掛けず楽しく健康に社交ダンスを行うことで介護予防を図る。 ・第4金曜日	10	131
17	食品衛生 講習会	H29	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解いただく。	5：地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。 ・年1回（7月）	0	0
18	上白根・旭北地区振り込め詐欺防止講座	R1	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が、振り込み詐欺などの被害にあわぬよう、事前に防止することを目的に講演会を実施する。	1：高齢者	5	地域包括支援センターで神奈川県警のHPの振り込め詐欺情報の内容を整理し、一部クイズ形式で講義する。 ・不定期	0	0
19	ストラップ プレゼント事業	H30	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	シニアボランティアポイント講習の受講者に対して、積極的なボランティア活動を促すための機会として開催。	5：地域		ストラップを製作し、ひかり福祉フェスタ開催時に地域の方々に配布する。地域の方々が身に付け喜ばれることを通じて活動者としてのやりがいを感じてもらい、次の活動へつなげる。 ・不定期	0	0
20	第19回 ひかり福祉 フェスタ	H12	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関する団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすいとする狙い。	6：事業者	5	グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会（カブカブ他）と共催、包括では介護予防の啓発、地域交流では催しもの事前準備のためのボランティアをコーディネーター（引き続き来場者のための記念品を作成するボランティアが事前にも活動を実施）。 ・年1回（11月）	0	0
21	上白根旭区版 エンディングノート活用講座	R1	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者等が、終末期に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノート書き方講座を実施する。成年後見制度普及も視野に入れ講義を行う。	1：高齢者	5	旭区版エンディングノートを用い、記述例をもとに項目ごとの意図を説明しながら、一部鉛筆で下書きしてもらい、必要性を認識してもらい、併せて成年後見制度の説明をする。 ・不定期	3	70
22	福祉フェスタ 健康チェックコーナー	H26	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	主に地域の高齢者を対象に健康状態をチェックする機会を設け、健康に対する興味を持ってもらい、ひいては介護予防の意識付けをする。	1：高齢者	5	骨強度、ストレスチェック、血管年齢、血圧、身長、体重などを測定。希望者には健康、栄養、口腔の個別相談を行う。健康講話、健康体操を実施する。 ・年1回（11月）	0	0
23	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	H24	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作る。	5：地域		ケアプラザ機能の周知 ・各ケアプラザの事業をパネルで紹介 ・子育て世代を中心とした多世代交流プログラムの実施（わなげ）	0	0
24	四季の森小学校4年生・視覚障がい者交流会/車椅子の扱い方講習会	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	視覚障がい者と交流し、学ぶことで、視覚障がい者を知る。さらに、車椅子の扱い方を学び、障がいを持った方の接し方を学んだ。またケアプラザの紹介を行いケアプラザを知っていただく。	4：子ども・青少年	2	視覚障がい者と交流し、その方の想いや生活についてお話を伺ったり、点字の実物を見る等、視覚障がい者について学び、また車椅子に実際に触れ、扱い方、気を付けなければならない事について話し合う。更にケアプラザの紹介を行い、ケアプラザを知っていただく。 ・年1回（12月）	1	30
25	四季の森小学校4年生と 高齢者の交流会	H29	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生と高齢者が一緒に遊びをしたり、歌を歌ったり、おしゃべりを楽しみ、多世代交流を行った。高齢者・地域の方々・子ども達双方にケアプラザを知っていただき、交流の場とする。	4：子ども・青少年		四季の森小学校の4年生がケアプラザを訪問し、ケアプラザの機能を学んでいた。その後、1人暮らしの高齢者昼食会で歌を歌うなどの交流を行う。また、遊びで、地域の方々、高齢者の方々と交流を行う。 ・不定期	0	0
26	URハマトレ体操	H30	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	ハマトレトレーナーの育成にて高齢者の生きがい、やりがい作りを行い、介護予防を目的とした体操講座の継続・発展・自主化を目的とする。	1：高齢者	5	介護予防を主として講師も出席者も共に健康に介護予防を行えるよう開催。口腔体操等も取り入れる。 ・毎月第4金曜日	7	69
27	地域貢献デー	H25	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	旭陵高校の生徒と一緒に地域福祉を学び、生徒一人ひとりに地域社会の一員であるという自覚と責任を持たせるとともに、様々な活動を通して地域の方々と交流を図る。	4：子ども・青少年		ケアプラザの機能や、地域福祉について学習し、生徒と一緒に清掃活動や高齢者等との交流を行う。	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	助け合いが当たり前プロジェクト	R1	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア（支え合い）への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1：高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 ・不定期	0	0
29	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	R1	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	「地域共生社会」に向け、「誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす」この目標に対し日本全体で課題となっている高齢化に伴い、認知症の方々と地域が関わる事が多くなっている。認知症サポーター養成講座を受講して頂く事で、認知症への理解を深め、気付き、関係機関と連携できる体制整備を進める。	5：地域		認知症サポーター養成講座 ・不定期	0	0
30	夏休み子どもクラブ	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント（科学クラブ、クッキー教室、手芸教室など）で恒例となっている。	4：子ども・青少年		定期的に開催している子ども科学クラブに加え、クッキー等の手作り教室を開催。	2	13
31	ユマニチュードDVD上映会	R1	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症普及啓発のための地域住民向け上映会。特に認知症の家族を介護している介護者向けの内容であるが、地域で認知症の方やその家族に関わる住民にも役立つものなので、地域での見守り体制作りのために実施。	5：地域		西ひかりが丘団地の住民サロン「つどい」の枠内で実施。DVD全三巻のうち、第一巻「入門編」を9月、第二巻「実践編」を11月に上映。	0	0
32	西ひかりが丘地区エンディングノート書き方講座	R1	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者等の終末に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノートの書き方講座を実施する。	1：高齢者	5	旭区版エンディングノートをを用い記述例をもとに項目ごとの意図を説明し、一部鉛筆で下書きしてもらうことで必要性を認識してもらう。	1	0
33	ひかり卓球部	R3	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	主に高齢者を対象に卓球ができる環境を提供し、地域の福祉活動の発展と介護予防を目的とする。	1：高齢者	5	この地域では、若い人とは力的に一緒に卓球ができないが、卓球をやりたい高齢者が多い。そこでこの事業を行うことにより、見守りをしながら軽いスポーツを提供する。始める前に体操を行うことにより、けがを防止し、卓球のみではなく、高齢者の交流の場となるよう、休憩中は脳トレや茶話会ができるような場を作り、介護予防につなげていく。	21	227
34	終活講座	R3	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	地域の高齢者等の終末に向けた不安感を軽減し、より良い人生を送れるよう旭区版エンディングノートの内容含む終活講座を実施する。	1：高齢者		相続遺言講座セミナー講師による講座を通して家族や人生について考えるきっかけを持ってもらうため講座の開催を実施する。	1	20
35	特殊詐欺啓発活動	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	多発しているオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとする特殊詐欺の注意喚起、情報を提供し地域の高齢者へ注意喚起を行い被害の発生を未然に防いでいく。	1：高齢者	5	地域の高齢者の方を対象に、特殊詐欺の内容をメインに「あさひかわら版」の内容や警察からの緊急情報を周知していく。	7	67
36	UR&CP共催出張相談会	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護、福祉、健康及び医療などに関して、より身近な地域で気軽に相談ができる機会を設ける。	1：高齢者		西ひかりが丘団地に居住されている高齢者を対象にひかりが丘CP包括支援センター職員が地域に出向き、福祉、保険、介護の相談会を開催。（月に1回2時間程度・およそ4名まで）	1	3
37	四季の森小学校3年生 ハマトレ体操と四季小オリジナルダンスのコラボレーション	R3	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	四季の森小学校3年生の総合学習に沿って、ケアブラザを利用する人たちがそこで働く人たちの思いや願いを交流を通して子どもたちに理解を深めてもらう	4：子ども・青少年	1	ケアブラザ貸館団体のハマトレ体操のグループと四季の森小学校3年生と一緒にハマトレ体操と四季の森小オリジナルダンスを体験して、交流を深める	2	75
38	サムライロック健康体操	R3	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	コロナ以降、自宅にこもりがちで地域の高齢者に運動の機会を提供する。専門のインストラクターを招き、ラジオ体操をメインに基本的な体の動かし方や、自宅でもできる効果的な体操の方法を学ぶ。	1：高齢者		運動の方法を学ぶことで冬季を乗り切る体力づくりの一助とし、体操後に懇談会を行い、運動についての知識を気軽に得られる機会とする。	2	40